

東急線の駅の防犯を強化 防犯ボタンを設置、インターホン、防犯カメラを増設します

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、駅の安全性を高めるため全線に防犯ボタンを設置し、あわせてインターホン、防犯カメラを増設します。

当社では2005年2月から、お客さまが駅構内で不審者や不審物を発見した場合や、犯罪や事件などのトラブルが発生した際に速やかに対応するため、田園都市線三軒茶屋駅に新たな防犯システムを試験的に導入しています。この防犯システムは、新たに設置した防犯ボタンをお客さまが押すことにより、駅務室と警備会社に自動的に通報され、駅係員と警備員が現場に向かうというもので、これまでに防犯ボタンの使用状況、設置場所、警備員の現場への到着状況などについて検証を行ってきた結果、この防犯システムがお客さまからの通報に要する時間を短縮し、駅の安全性を高める効果をあげることが確認できました。

このため、2005年12月から、80駅のホーム、コンコース、トイレに防犯ボタンを設置するとともに、一部の駅に設置しているインターホンを増設します。また、すでに全駅への設置を完了している防犯カメラをホーム、コンコースに増設します。

防犯ボタンの設置、インターホンの増設および防犯カメラの増設の概要は以下のとおりです。

防犯ボタンの設置、インターホンの増設および防犯カメラの増設の概要

防犯ボタンの設置

- ・ 仕組み 別紙参照
- ・ 設置場所 ホーム...約40mごとに設置
緊急に列車を止める場合に運転士に異常を知らせる既設の非常通報ボタン（防犯ボタン設置にあわせて「非常停止ボタン」に名称を変更）付近
コンコース...改札窓口から離れた見通しの悪い場所
トイレ...洗面台付近、ブース内（一部設置済み）
- ・ 設置駅数 80駅（トイレのみに設置する駅を含む）

インターホンの増設

- ・ 増設場所 現在コンコース、ホーム（一部の駅）にインターホンを設置している駅のホーム（約60mごと）
- ・ 増設駅数 32駅

防犯カメラの増設

- ・ 増設場所 ホーム、コンコース（改札窓口から離れた見通しの悪い場所）
- ・ 増設駅数 93駅

上記の設置計画

2005年12月1日から設置し2006年12月までに設置を完了する予定です。

以上

●防犯ボタンの仕組み

不審者・不審物の発見、
トラブルなどの発生



防犯ボタンを押す

★ブザーが鳴り、ランプが点滅する。

犯罪や事件などのトラブル発生を周囲に知らせます!

駅務室・警備会社に自動的に通報されます



駅係員・警備員が現場に急行します

